

3月定例会 個人質問

藤井義明議員

インフラ・公共施設を崩壊させないための計画について

議員 ①いずれ時期が来るインフラ・公共施設の維持更新は、非常に困難な課題となっている。放置すれば建物の崩壊を招き、借金しなくても実施すれば財政破綻に陥る。

そのため、利用者に負担の増加をお願いする、あるいは市民サービスの低下を招くことを伝えるなど、現状等について市民と正確な情報を共有することが重要と考えるが、どうか。

②「公共施設の現状と課題について」の報告書には道路等のインフラは含まれていない。それらについては把握しているのかたずねる。
市長 ①現在広報紙等での

情報共有に努めている。

公共施設の老朽化とその維持管理に係る経費の問題はこれからのまちづくりや地方自治体の財政安定化の面からも大きな課題と認識しており、今後も正確な情報の提供に努めたい。

②各施設の管理部門で把握しており、各インフラともに長寿命化に向けて個別に点検調査と長寿命化計画等の策定に取り組んでいるが今後は市全体の財政負担を考慮した総合的な管理計画の策定が必要と考えている。
議員 病院の長寿命化についてほどの程度かかるのか。
病院管理局长 建替えか補強かをこれから検討することになるが、建て替えた場合、通常1床あたり2千万円以上かかる見込みである。

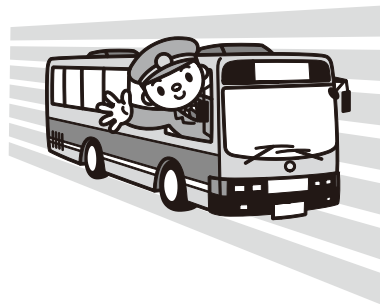
総合計画後期基本計画について

議員 ①本市が目指すまちの姿についてたずねる。

②公共交通の確保は商店街

の活性化にも寄与すると考えるが、今後の交通体系についての考えをたずねる。
市長 ①それぞれの地域の特色、伝統・文化等を活かした、地域ごとのコンパクトなまちにすることで、市民にとって住み続けたいまちの実現ができると考えている。

②利用者アンケート等を考慮しながら、地域の方々がより利用しやすいものとなるよう、検討したい。



齋藤一信議員

「消防団支援法」成立をうけて消防団の処遇改善について

議員 昨年成立したこの法

律では、団員の退職報奨金が一律で引き上げられることになり、各自自治体ではそれに伴い条例改正を行う動きもある。しかし、本市では加えて消防団の年額報酬等の改善にも取り組むべきと考えるが、どうか。
市長 本市では過去に見直しを行い、分団長以上の役職は基準を上回っているが他の団員については基準を下回っている部分もあり、今後検討していきたい。

防災体制の強化について

議員 福井県鯖江市は「オープンデータ」の先進地であり、それをを用いて災害時の避難所の位置等を公開している。本市でも実行してはどうか。
市長 情報提供や市民サービスの観点から有効な取組みであると考え、今後研究していきたい。

議員 非常に簡単な作業で取り組むことができ、コス

トもあまりかからないと聞いている。そして政府よりも進んだ独自の事業展開も可能とする。すぐにでも始めてみてはどうか。

危機管理部長 エクセルやワード等の簡単な形式ではなく、民間企業が入りやすくなるよう「誰でも取り込める」形式で提供すれば鯖江市のように非常に便利なものになると考えておりそのような方向で取り組んでいきたい。



アスリート育成について

議員 ①小学生時代に行っていたスポーツの部活動が校区の中学校にない場合、該当の部活動がある近隣の中学校への入学・転校を認